

3月16日のウクライナ情報

安齋育郎

●ゼレンスキーは利用された([yellowjustice](https://twitter.com/i/status/1632574981573074945), 2023年3月6日)

※安齋注:これまで私が言ってきたことを分かりやすく整理してくれています。必見映像ですね。日本語字幕付きで、非常に分かりやすいです。

<https://twitter.com/i/status/1632574981573074945>

必見



●マスコミは疑え！(2023年3月)

ツイッター・コメント:マスコミの中でもテレビ(無料)が問題である。戦後 GHQ の 3S 政策《スポーツ スクリーン(映像)セックス(風俗)》を洗脳してお花畑の日本人に仕立て上げた。3S をテレビで流し続けて、その隙間に様々な政治情報を国民に刷り込んでいる。経済(今だけ、金だけ、自分だけ)を優先せず IT を活用し自分で情報の取捨選択をするべきである。



※安齋注:「3S 政策」は日本人の間ではあまり知られていないようですが、日本を占領した米軍の基本政策の一つです。screen(スクリーン=ディズニー映画などの映像鑑賞)、sport(スポーツ=野球などのプロスポーツ観戦)、sex(セックス=性欲を掻き立てる文化や性産業)を用いて日本人の関心を政治に向けさせないようにする愚民政策とされています。韓国でも、韓国政府によってこの政策が採用されました。

●NHK 同時通訳のうっかりお手柄(2023年1月30日)

投稿者コメント:プーチンの演説を NHK の同時通訳が地上波でそのまま流してしまいました。

しかしこの通訳部分は 2 度と地上波では流しませんでした。やっぱり都合が悪いものネ。
<https://twitter.com/i/status/1619677137329606656>



●町から強制動員されるウクライナの市民(2023年3月15日)

さらに多くのウクライナ人「志願兵」が軍隊に加わり、バフムートの英雄的な擁護者となった。

<https://twitter.com/i/status/1635674970973163520>



●バフムト最前線は「肉挽き機」と呼ばれ味方兵の寿命は 4 時間しか持たない 現地で戦闘参加の元米海兵隊員の話(ABC ニュース、2023年3月2日)

絶え間ない砲撃」。ウクライナ・バフムトの元米海兵隊員、戦闘は「混沌としている」と語る。元米海兵隊員のトロイ・オッフエンバック氏は、「ノンストップ」の砲撃があると語った。

ウクライナの Serhiy Nayev 中將は ABC ニュースに対し、ウクライナにとってこれまでで「最も過酷な局面」だと語った。

キエフ—ドンバスでウクライナ軍と一緒にロシア軍と戦っているアメリカ人によると、バフムト市で

の激しい戦闘の最前線での平均寿命は「4 時間」だという。

ミシガン州の元米海兵隊員トロイ・オフエンベッカー氏は ABC ニュースに対し、ロシアの本格的な侵攻以来、最も死者の多い戦闘が続く同市の状況は「混沌」としており、「肉挽き機」とも呼ばれていると語った。

”地上はかなりひどい状態だ”と ABC ニュースに語っている。「多くの死傷者が出ている。最前線では平均寿命は 4 時間程度だ”

数カ月にわたり、ロシア軍は同市を包囲しようとしてきたが、これまでのところウクライナの激しい抵抗に遭い、侵攻記念日を前にクレムリンの象徴的な勝利を否定している。

外国人戦闘員で構成される軍団「国際軍団」で戦うオフエンベッカーは、ABC ニュースに「(砲撃は)ノンストップだ」と語った。「ロシアは最近、砲弾が不足しているのかもしれないが、この 2 週間はノンストップだ。昼も夜もずっとです”

ウクライナ当局は、ロシアの待望の攻勢はすでに始まっていると考えているが、攻撃は人員や装備の大きな損失と物流の課題によって複雑化している、と述べた。

”砲撃の量、持ち込まれた装甲(装甲車両、自走砲)の量からして、始まったと思う。「ただ、冬は例年ほど寒くないので、大変です。地盤の関係で、思うように装甲を動かせないのでしょう ”と。

もっと見る畷だった」。ロシアの「意図的な」攻撃で誘導ミサイルに殺された可能性が高い米国人ボランティアを示すビデオ

この街は、戦争が始まって以来、最も血生臭い戦闘が行われた場所である。オフエンベッカー氏によると、先週、避難命令が出たにもかかわらず、ロシア軍に占領されていない市街地には「かなりの数の」民間人家族が残っているという。

「これらの家族の多くは貧しい。「行きたくても行くところがないのだ。だから、現実にはまだ多くの市民がこの中に閉じ込められているのだ” と述べた。

●ウクライナ兵が現実を受け容れない上官に電話で激怒(2023年3月15日)

「肉挽き機(前線)」からのウクライナ兵が、現実を受け入れない上官に電話で激怒中 ✪

あるウクライナ兵が塹壕の状況を伝えるため、上司に電話をかけた際の映像。

兵士:「我が第 200 大隊に 160 人(死者)がいることを知ってるんですか ? そんなこと、知らないでしょう!?

<https://twitter.com/i/status/1635673635401916416>



●タッカー・カーソンの自戒(2023年3月15日)

自身の経歴を振り返って思うこと:「メディアの洗脳装置の一部として働いていたこと、特にイラク戦争を擁護してしまったことを後悔してる」

「少しでも考え方の違う人のことを陰謀論者だと思ってしまうような思想に浸かってしまっていた」

生活のためとはいえ、飼い主の思惑のためにコロナ、ワクチン、ロシア、ウクライナについて頓珍漢なことをテレビで言わないといけないのは少し可哀想だなと思う

<https://twitter.com/i/status/1635600363893182466>



●シーモア・ハーシュ、米国のNGO「共和国の為の委員会」イベントで発言(2023年3月15日)

「キエフ敗北の見通しで米国がウクライナ紛争に介入する可能性がある」

「これが NATO だ、ロシアに対する攻撃で NATO を支援するというゲームになるそうだが、世界は騙されないだろう。ロシアと戦争しているのは我々(米国)だ」

彼はスターリングラードの戦いを想起し

「どうだ。私達(米国)は本当にこいつらと喧嘩をしたいのか? そんな事はないだろう」と指摘。

「私達(米国)は恐らくそこ(ウクライナ)で何が起きているのか、どんな結果になるか自分達を欺いているだけだ」。「ロシアは主力部隊すら交戦させていない」と強調した。



●場外乱闘起こる(2023年3月15日)

チェコ国家機関からのウクライナ国旗の撤去と、対ロシア戦争へのチェコ共和国の関与の終了を要

求するチェコ共和国での集会！

<https://twitter.com/i/status/1635669102907002880>



●マリウポリ住民のゼレンスキー観(2023年3月15日)

これだけは言える。

あんたはウクライナを戦争に引きずり込んだ、吐き気がする毒虫だよ。平和を達成すると誓って聖なる宣誓書にそう書き込んだ男が、私たちの国をこんなふうな戦争の深みに沈めた。愛するマリウポリの町を破壊したんだ。

あいつには何の憐れみもないよ。地獄の炎に焼かれるがいい。以上！

<https://twitter.com/i/status/1635449923947888640>



●多湖淳・早稲田大教授のインタビュー(朝日新聞国際報道部、2023年3月12日)

”次の戦争を起こさせないためには、ロシアのまねをしたら大変なことになる、ということを世界へ示さないといけません。ウクライナが有利な形で停戦・休戦ができるよう、最大限の支援をしていくことが求められます”

